

第16期
第2四半期決算説明会
(2019年1月1日～6月30日)

2019年8月15日
株式会社ワイヤレスゲート



ワイヤレス・ブロードバンド事業
(BtoC 事業)



- ・プライベート LTE 事業
- ・セキュアアクセス事業
- ・BtoB 事業全般



- ・ヨドバシカメラ
- ・その他販売チャネル



- ・グローバルネットワーク事業
- ・事業買収による BtoC 事業



新・中期経営計画の策定

- 決算ハイライト
- BtoC 事業の取り組み内容
- グループ企業の状況

- 決算ハイライト
- BtoC 事業の取り組み内容
- グループ企業の状況

※（）内は、通期予算進捗率

●売上高	5,721 百万円	(49.8%)
●営業利益	55 百万円	(135.9%)
●経常利益	46 百万円	(121.4%)
●四半期純利益	34 百万円	(147.8%)

四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

- 決算ハイライト
- **BtoC 事業の取り組み内容**
- グループ企業の状況

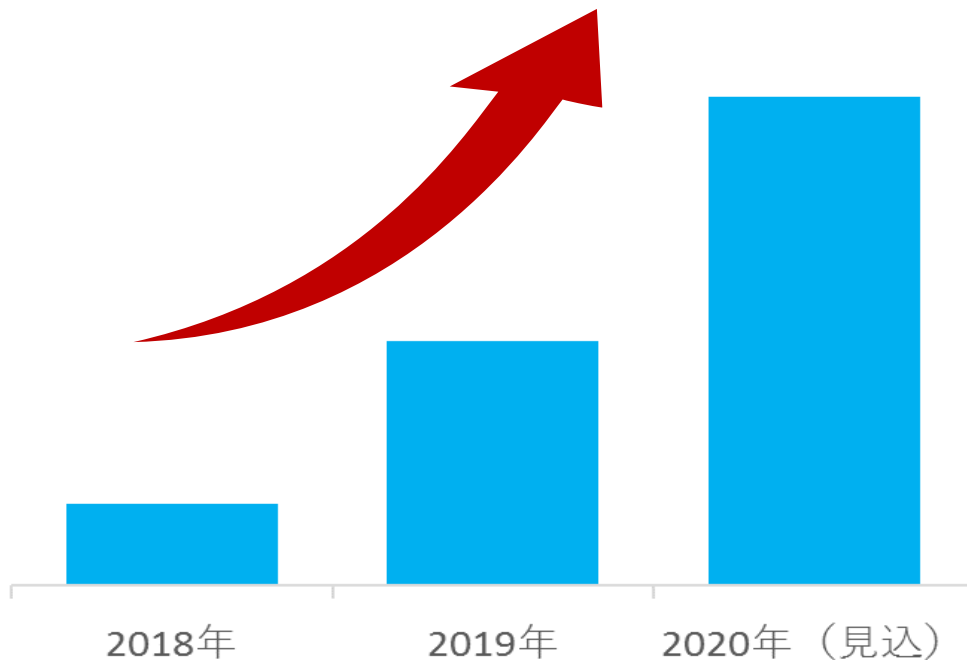
主カサービス「モバイルインターネットサービス」

- 主に「ワイヤレスゲート Wi-Fi+WiMAX」
 - 2018年度の売上高：105億5百万円
 - 全体の売上に占める割合：92.0%
- 2Q実績
 - 売上高：5,220百万円（前年同期比 0.8 % 減）
 - Wi-Fi+WiMAX は、1Q と比較してユーザ数は増加トレンド
 - 微減理由：
 - SIMの月額基本料の減少

下期は、10周年キャンペーン
などで会員獲得を推進予定



<BtoC 事業 販売チャネル数>



量販店、携帯ショップ、
ECサイト、催事場、不動産関連、
スマートフォン修理スポットなど

ロ. 公衆無線LANサービス

売上高 241百万円 (前年同期比 9.3 % 減)

ハ. オプションサービス

売上高 42百万円 (前年同期比 8.1 % 減)

新オプションサービス (ZoneAlarm)



世界最高レベルの端末セキュリティソフト

iOS 版：3月14日リリース

Android 版：6月20日リリース



×



イスラエルの世界的なネットワークセキュリティ企業
アメリカ国防総省、フォーチュン100企業の94%、
国内官公庁、鉄道、電力、銀行等が採用



- 決算ハイライト
- BtoC 事業の取り組み内容
- **グループ企業の状況**

- LTE-X（連結子会社）
 - 売上を伴って順調に事業拡大中

- 政府、公共機関向け
サイバーセキュリティソリューション
- 地方自治体向け
防災ネットワークソリューション
- 地方自治体向け
データプラットフォームソリューション
- 教育委員会向け
教育 ICT ソリューション

StartupXAct
スタートアップエグザクト 2018

長野県上田市

上田市が代表となり東信州次世代産業振興協議会（上田市、佐久市、小諸市、東御市、立科町、長和町、青木村、坂城町、千曲市）にて実施

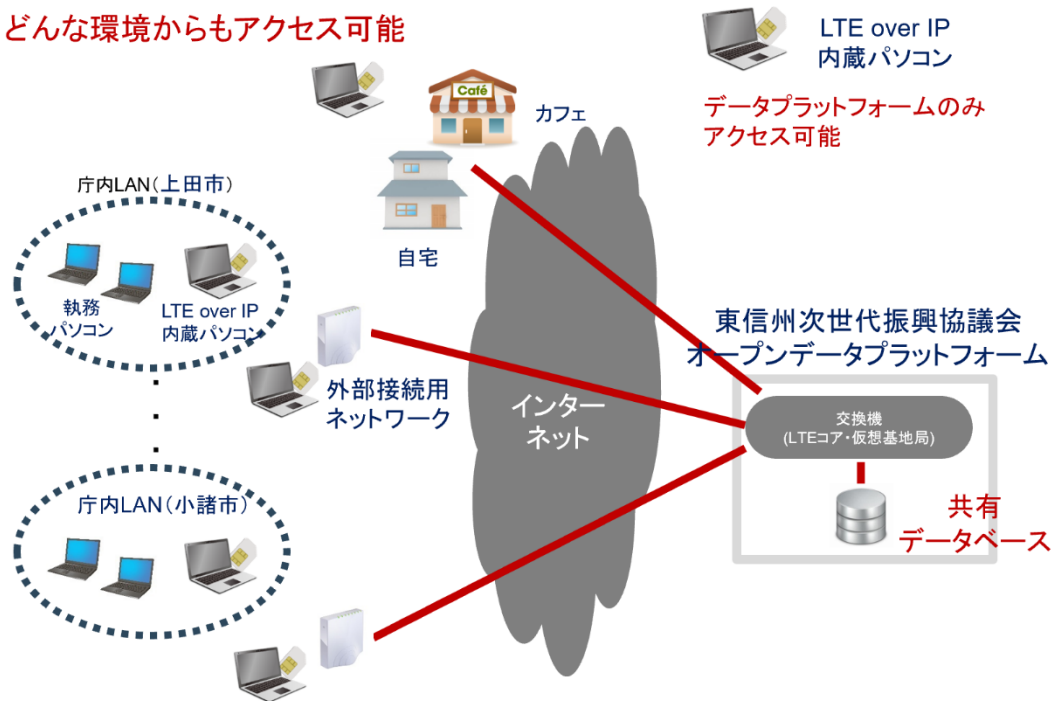
産業振興・雇用促進

地域経済分析システムの活用

マッチング先ベンチャー

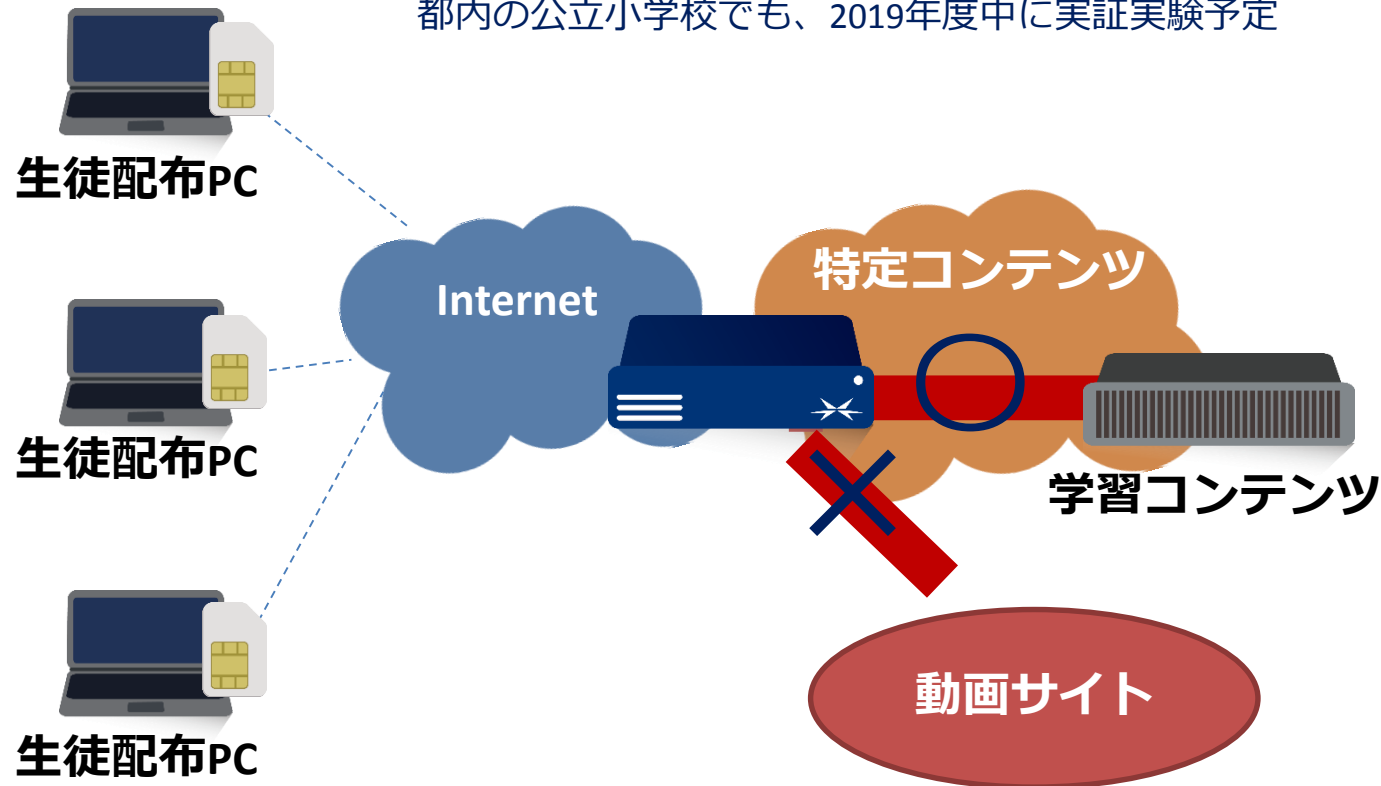
株式会社LTE-X

どんな環境からもアクセス可能



どんなインターネット環境からアクセスしても、 特定のコンテンツにしかアクセスさせないソリューション

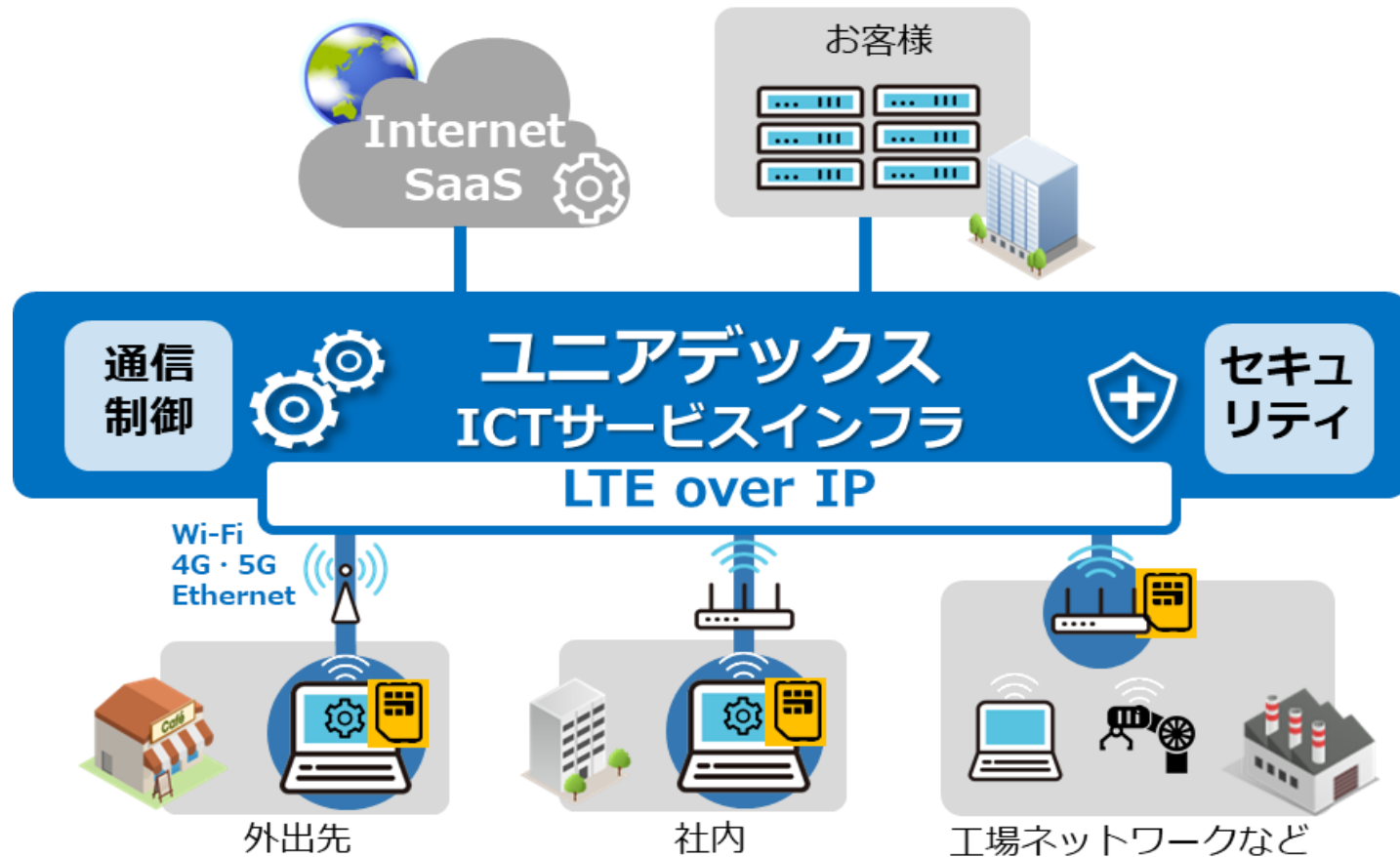
地方の公立中学校での持ち帰り学習ソリューションとして実証実験済
都内の公立小学校でも、2019年度中に実証実験予定



- 働き方改革向けソリューション
- ネットワークカメラソリューション
- 決済端末向けセキュアネットワークソリューション
- IoT 工場向けソリューション
- 拠点間セキュアアクセスソリューション
- 構内 PHS 代替ソリューション
- プライベート LTE（ローカル 5G、自営 BWA）事業



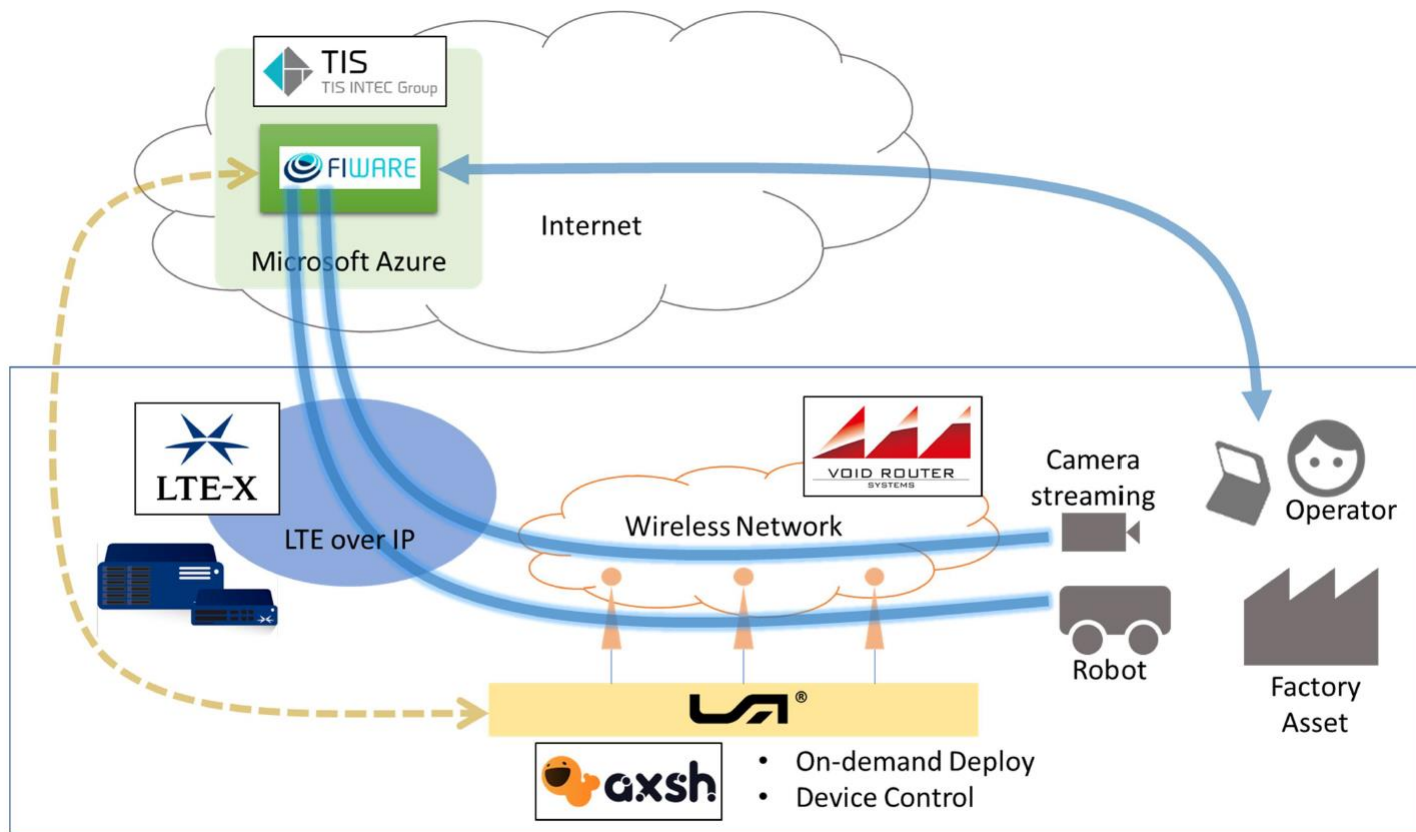
法人向けソリューションとして営業展開



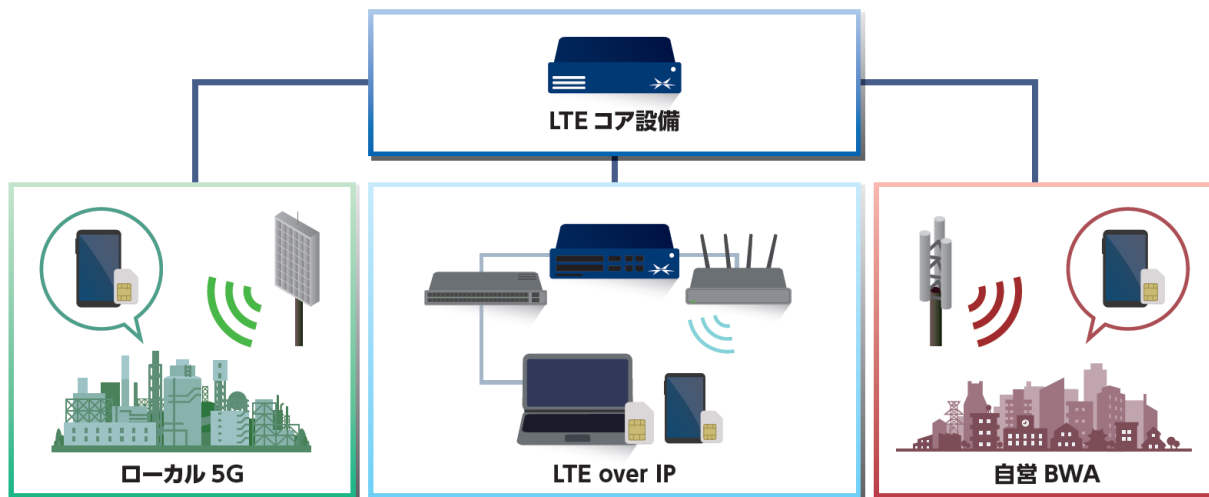
ノートパソコンへの組み込みにより拡販



- IoT デバイスで取得したデータのクラウドへの安全な送信
- IoT デバイスの遠隔管理



2019年に解禁される新たな周波数制度でのライセンスバンド無線ネットワークとの一体運用により、高セキュリティ・高速な統合自営ネットワークインフラを実現



ローカル5G

5G用周波数の割当において新たに設けられた特定周波数帯を**土地の所有者が利用できる**制度。使用には5G基地局・機器が必要。

自営BWA

ローカル5Gと同時に開始予定の制度で、**4G周波数帯**を土地の所有者が利用できる制度。4G(LTE)の基地局・機器が利用可能。

- BtoC 事業、グループ会社事業とも順調
- FY2019 中には新中期経営計画を発表予定

将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

第16期 第2四半期決算説明会

DATABOOK

株式会社ワイヤレスゲート

(百万円、%)

	2019年12月期 第2四半期累計期間		2019年12月期 通期		2018年12月期 通期	
	実績	進捗率	予想	構成比	実績	構成比
売上高	5,721	49.8%	11,500	100.0%	11,416	100.0%
営業利益	55	135.9%	41	0.4%	190	1.7%
経常利益	46	121.4%	38	0.3%	-1,084	-9.5%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	34	147.8%	23	0.2%	-2,107	-18.5%

前期比 (2019年対2018年)



(百万円、%)

	2019年12月期 第2四半期累計期間 実績(連結)			コメント	2018年12月期 第2四半期累計期間 実績(連結)	
	実績	構成比	増減比		実績	構成比
売上高	5,721	100.0%	-1.3%	ヨドバシカメラ以外の販路での新規会員獲得や既存顧客の退会防止に向けた追加施策を実施したこと等により、前年同期とほぼ同水準にて推移	5,796	100.0%
売上総利益	1,367	23.9%	-6.6%		1,463	25.2%
販売費及び一般管理費	1,311	22.9%	15.0%	人件費、販売促進費など約2億円以上削減した一方で昨年度ヨドバシカメラとの間で、新たな販売業務委託契約を締結したことに伴い、販売費用が増加したこと等による	1,140	19.7%
支払手数料	1,008	17.6%	61.5%		624	10.8%
人件費等	98	1.7%	-38.2%		159	2.8%
販売促進費	96	1.7%	-61.0%		248	4.3%
業務委託費	50	0.9%	11.5%		44	0.8%
その他	57	1.0%	-10.1%	63	1.1%	
営業利益	55	1.0%	-82.7%	上記の結果	322	5.6%
営業外損益	-9	-0.2%	-88.0%	持分法による投資損失	-79	-1.4%
経常利益	46	0.8%	-81.0%	上記の結果	242	4.2%
特別損益	-	-	-	-	-	-
税引前四半期純利益	46	0.8%	-81.0%	上記の結果	242	4.2%
法人税等	29	0.5%	-75.5%	-	119	2.1%
法人税、住民税及び事業税	24	0.4%	-79.8%	-	121	2.1%
法人税等調整額	4	0.1%	-319.1%	-	-2	0.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	0.6%	-77.2%	上記の結果	149	2.6%

2019年12月期 通期業績予想



(百万円、%)

	2019年12月期 通期 (予想)			2018年12月期 通期 (実績)	
	予想	構成比	増減比	実績	構成比
売上高	11,500	100.0%	0.7%	11,416	100.0%
営業利益	41	0.4%	-78.5%	190	1.7%
経常利益	38	0.3%	-	-1,084	-9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	0.2%	-	-2,107	-18.5%
1株当たり当期純利益 (円)	2.18	-	-	-200.52	-